

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		波の家家庭センター					公表日	2025年 2月 1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	療育スペースを確保できるよう、物はできるだけ倉庫などに収納し、活動スペースを確保している。	今後もスペースを広く確保できるよう、物の配置の見直しを行っていく。		
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	国の人員配置基準に定められている人数よりも多く配置されている。			
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	スロープ、手すり、点字ブロックが設置されている。	視覚的な情報提供について、さらに工夫すべき点がないか見直していく。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	危険個所は事故防止テープを貼っている。半年に1回法人全体で清掃チェックが行われている。	清掃や整理整頓をしっかり行っていく。		
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	1	パーテーションを必要に応じて使用している。	相談室内の整理を行い、活用していく。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	1	改善点があれば都度、ミーティングで話し合い、改善に努めている。	出勤時間の関係で、全体で振り返る時間の確保が難しい。その為、業務連絡ノートを活用し、工夫して行っていく。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	ご意見を踏まえ、職員で話し合いを行い、改善できるように取り組んでいる。	職員全体で把握や共有できていない事もある為、業務連絡ノートに記録を行っていく。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	毎日ミーティングを行い、意見を出し合っている。	より広く職員が参加し、様々な角度から意見を出し合えるようにしていく。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	1	現在は行っていません。	要望があれば今後外部評価の活用を検討したいと思います。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	法人で定期的に研修を行っている。	研修を踏まえ、施設での改善点や反省点の見直しを行っていく。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	専門職を加え、話し合いを行っている。月毎に作成者を変え、固定化されないようにしている。	今後も様々なプログラムの提供を行っていく。		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0	保護者の意向を丁寧に聞き取った上で、本人中心の支援計画になるよう努めている。	アセスメントをしっかり行い、より良い計画になるよう努めていく。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	意見交換を活発に行い、より良い内容になるよう努めている。	お子様の必要に応じた支援目標や支援内容になるよう努めしていく。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	日々のサービス提供記録と一緒に確認できるよう貼りだしている。	より計画に沿った活動内容になるよう努めいく。		
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	業務ノートに記録をしっかりと残している。	しっかり記録がとれるよう努めしていく。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	各項目をそれぞれ設定し、内容も記載されている。	支援目標や支援内容がより良い内容になるよう努めしていく。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	1	活動の目標やねらいを立て、活動を進めしていくよう努めている。	改善点がないか振り返りを行っていく。		
適切な支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	毎日リーダーを変え、プログラムの内容がマンネリ化しないよう努めている。	今後も様々なプログラムを計画していく。		
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援を行っているか。	8	0	支援計画に沿った支援が行われるよう、日々プログラム内容を工夫し、提供するようにしている。	今後も一人一人のお子様に合った支援になるよう、プログラム提供方法を工夫していく。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	スケジュールボードを活用して内容を記入し、役割分担を行っている。	支援内容のねらいや目標を共有し合いながら、チームで連携し支援を行っていく。		

適切な支援の提供	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	3	支援開始前に前日の振り返りや気づいた点を共有している。	より活発に意見交換が行えるよう努めています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	記録の見直しを随時行い、改善に努めています。	より良い支援家内容や記録になるよう、見直しを行っていく。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	半年に一回モニタリングを行っている。	今後も継続していく。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	7	1	長期休みには外出したり、ボランティアの方に来て頂く等、普段体験できない事を計画するよう心掛けている。	今後も様々な活動を提供していく。
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	1	選択肢を提示したり、お子様が自ら決定し行動できるよう働きかけている。	支援者主導の活動が多い為、さらに工夫が必要。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	児童発達支援管理責任者や支援員が出席し、お子様の情報共有や支援方針の共有を行っています。	今後も連携し支援を行っていく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1	保護者に医療機関からの情報提供を求め、連携した支援が行われるように努めている。また保護者からの要望があれば、学校とも連携している。	今後も連携をとり支援を行っていく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0	保護者にも協力を仰ぎながら、連絡が漏れないよう気を付けている。	今後も連絡漏れがないよう、注意していく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	0	利用開始までに保護者から情報を頂き、円滑な支援の移行が行えるようにしている。	今後も情報共有を行っていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	3	ご要望やご相談があれば、情報提供を行っています。	今後も保護者様からのご要望やご相談に、丁寧に対応していく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	1	現在は行っていませんが、必要に応じ機会を設けています。	機会があれば積極的に参加していく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	6	2	現在そのような機会を設けていません。	機会があれば積極的に交流を行ってきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	1	現在は行っていません。	
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	お子様の施設でのご様子についてしっかりと伝えし、ご家庭での様子も聞き取り行って、共通理解を持てるよう心掛けている。	保護者様のお悩みやお困り事が少しでも軽減できるよう、寄り添っていく事に努めています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレン特訓・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	6	保護者会を開催し、ご家庭でのお困り事へのアドバイスを行っている。	保護者様のご家庭でのお困り事に適切なアドバイスが行えるよう努めています。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2	6	契約時に、契約書の内容を丁寧に分かりやすく伝える為、施設紹介ファイルを使用し、説明している。	より丁寧に説明を行っていく。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	丁寧に保護者様のご希望をお聞きし、現状に合った目標になるように努めている。	保護者様の意向に寄り添いながらサービスが行われるよう努めています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	2	丁寧に説明を行い、保護者様の意向を適切に汲んだ内容になっているか確認を行って上で、同意を得ている。	より丁寧に説明を行っていく。
保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	面談時や日々のやりとりの中で、困り事に寄り添いつつ、アドバイスを行っている。	保護者様のお困り事に寄り添いつつ、より適切なアドバイスが行えるよう努めています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	0	バス旅行や保護者会を開催している。	今後も交流の場を設けていく。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	契約時に、受付窓口について説明している。	苦情があった際は迅速に対応していく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	0	契約時に丁寧に説明を行っている。また、面談時に改めて説明している。	保護者様へ周知していただけるよう、アピールを行っていく。

保護者への説明等	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	1	シュレッダーや金庫を設置し、活用するように努めている。	シュレッダーや金庫を活用し、保管場所や方法を周知徹底していく。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	視覚情報を含め、お子様の特性に応じた伝え方を意識している。 保護者様の状況に応じ、メールや電話、お手紙でのやりとりを行っている。	視覚情報を充実させ、活用していく。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	6	実習生の受け入れを行ったり、施設外活動を取り入れている。	より積極的に地域との繋がりがもてる機会を確保し、事業内容について知りいただけるようにする。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	契約時、施設見学時に紹介している。年度初めに避難訓練の年間スケジュールを配布している。	マニュアルの読み直しを隨時行う。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	避難リュックの中身の確認を毎月行っている。 毎月避難訓練を実施し、全体で反省、改善を行っている。	保護者様を含め、非常時の対応について周知、徹底していく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	各マニュアルをよく読み、適切な対応が行われるよう努めている。 保護者様とのやりとりをしっかり行い、対応している。	各マニュアルをしっかりと把握しておく。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	現在アレルギーのあるお子様はいないが、指示書があれば個別に対応している。	今後、アレルギー対応の要望があった際に、すぐに対応できる体制を整えておく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	事故防止についてのマニュアルをよく読み、安全に活動ができるよう努めている。	マニュアルの読み直しを隨時行い、お子様が安全に過ごす事ができるように努めていく。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	災害時の対応について、お手紙でお知らせしている。	保護者様へより周知徹底されるよう努めている。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	再発防止の為、ミーティングで意見を出し合い、対策を考えている。	今後もヒヤリハットの記録をしっかり行い、全体で改善していくようにする。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	毎年全体研修を行っている。 お子様への対応方法について話し合いの機会を設け、考えていけるようにしている。	チーム全体で支援について考えられるようにする。また、適切な支援が行えるようにしている。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0	現在、対象の方はいない。	

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	波の家家庭センター		
○保護者評価実施期間	2024年 8月 1日 ~ 2024年 8月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	2024年 8月 1日 ~ 2024年 8月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動スペースの広さや環境の整備	活動の妨げにならないよう定期的な物の配置の見直しを行っている。また、定期的な清掃を行い、清潔な環境になるよう心掛けている。	定期的に見直しを行い、活動の妨げにならないような環境作りや工夫を行っていく。また、清潔な生活空間を維持できるよう、こまめな清掃を行っていく。
2	活動プログラムの内容の充実	プログラムの改善点や振り返りを適宜行い、質の向上に努めている。長期休みには外出したり、普段できないような体験ができるよう工夫している。	ねらいや目標をしっかり定め、提供するプログラム内容の充実を目指して工夫していく。
3	情報発信の幅の広さ	毎月お便りを発行している。また、活動時の様子をブログや写真、スマートフォンカメラで見て頂けるようにしている。	保護者様とコミュニケーションをしっかりとり、お子様のご様子がよく伝わるように、今後も様々な情報ツールを活用していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域住民との連携	安全面を考えると、保護者からの同意を得にくい。	地域に開かれた事業運営を行いたいという希望はあります、安全面を考え、実施については協議を重ねています。
2	視覚情報ツールの活用の機会	活動の妨げになってしまふ為、普段は収納されており、必要時にすぐに取り出す事が難しい。	普段は活動の妨げにならないよう、掲示物を減らす工夫を行っていますが、必要時には随時使用していくように職員に周知徹底していきます。
3	保護者会や家族支援プログラムの周知	開催のお手紙は配布させて頂いていたが、日程やニーズのリサーチ、口頭での伝達を充実させる必要がある。	事前に希望をリサーチしたり、口頭での開催の伝達も行い、周知徹底を行っていく。

## 公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		波の家家庭センター							公表日 2025年 2月 1日	
									利用児童数 25	回収数 19
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	0	0	2	他の子どもたちの人数はわからない。	面談時や来所の機会に実際に見て頂いたり、普段の活動時の写真をお見せし、具体的に広さを感じて頂けるよう、丁寧に対応していきます。		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	14	0	0	1	良く見て頂き、安心しています。	具体的に人数等の説明を契約や見学時にご案内していくと共に、日頃から丁寧な関りに努めています。		
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	1	0	1		玄関と、2回への階段を除いて、段差のないバリアフリーな構造となっています。必要に応じてパーテーションで区切る事で、視覚的な情報を減らし、集中しやすいよう工夫していきます。また、必要に応じて絵カードやタイマー等を用いています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13	1	0	1		日々の清掃に加え、空気清浄機や加湿器の設置、また換気を行っています。環境を整えている事を感じて頂けるよう、日頃から清潔の維持に努めています。		
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援を受けられていると思いますか。	12	2	0	1		アセスメントを丁寧に行い、特性に応じた支援へと繋げられるよう、専門職とも連携を図っていきます。また、保護者とも情報交換や情報提供を行っていきます。		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14	0	0	1		送迎時にカリキュラムの内容を分かりやすく伝えています。また、サービス提供記録の記入についても、支援内容と合致させてわかりやすく残していきます。		
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15	0	0	0	いつも親身になって頂いています。	今後も現状を継続していきます。		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているだと思いますか。	14	1	0	0		支援において必要な項目が設定できるよう、細やかなアセスメントを行います。また支援計画の説明において、丁寧さ、わかりやすさを心掛けていきます。		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14	1	0	0		日々の伝達の仕方や、ノートの書き方を見直し、分かりやすく伝えています。		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15	0	0	0	夏休みも毎日プログラムを変えて下さっています。	今後も新しいプログラムを取り入れていただけるよう、アイデアを出し合い進めています。		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	10	0	2	3		実際の交流は行えていませんが、今後可能な範囲で交流する機会を検討し、実現を目指します。		
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13	2	0	0	しっかり説明してもらっています。	新規利用の方には契約時に、また既に利用されている方に対しても必要に応じて、より丁寧にわかりやすく説明を行っていきます。		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15	0	0	0		今後も個別支援計画を基に、具体的に分かりやすい説明を行っていきます。		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	2	0	4	利用した事がありません。	研修や情報提供の機会を増やしていきます。開催目的についても話し合いを進め、周知できるよう検討していきます。		

保護者への説明等	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができるいると思いますか。	12	3	0	0	いつもその日の様子を教えて頂けています。	今後もお子様の様子や情報を細やかに伝えていきます。共通理解に向けて、要望や質問等、職員間で共有できるよう話し合い、保護者へフィードバックしていきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	1	0	0		今後も必要に応じて対応していきます。子育て経験のある職員の意見を集めるなど、安心して相談できる関係作りに努めています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13	2	0	0		お子様と保護者に寄り添いながら丁寧に対応し、共感的な支援へと繋げていけるよう話し合いを重ねてていきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	3	0	3		今年も開催を予定しており、準備を進めています。きょうだい同士の交流については、現在は実施しておりますが、今後はテーマに沿った保護者会の開催が行えるよう検討していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	0	0	1		日頃から、相談や申入れがあれば施設全体で共有し、意見を出し合い、迅速かつ適切に対応できるようにしています。窓口などの周知、説明については、今後適切な手段を検討していきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13	2	0	0		より一層、子どもや保護者に合わせた配慮を行っていけるよう努めています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	14	1	0	0		毎月の通信やブログのご案内をわかりやすく丁寧にお伝えしていきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されているだと思いますか。	14	0	0	1		個人情報の取り扱いには十分に気付けていく事をお伝えしていきます。
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	0	0	1		訓練を行った時にご報告していきます。
非常時等の対応	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14	0	0	1	定期的に避難訓練をして頂いています。	引き続き、月に1度、非常災害の発生に備えて訓練を行います。訓練のご様子を丁寧にお伝えすると共に、掲示する等わかりやすい伝達方法を検討していきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	1	0	0		話し合いを重ね、お子様の安全確保を第一に支援が行えるよう、情報の共有、意見の交換を行っていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14	1	0	0	ちょっとした怪我でも教えて頂き、いつも安心しています。	怪我の大小に関わらず、些細な出来事でもお伝えが出来るよう職員間で情報伝達を行い、説明していきます。
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	14	0	0	1		子どもだけではなく、保護者にも安心して預けて頂けるよう丁寧に関わり、今後も良い関係作りに努めています。
満足度	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	13	1	0	1	いつも楽しそうです。	楽しみを持ってご利用いただけるよう、職員間で話し合って意見を出し合い、今後も支援していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	14	1	0	0		支援に満足していただけるよう、今後も一層努力して参ります。